神城断層地震 被害状況調査（第2回）集計状況

平成27年1月20日

白馬村災害対策本部（観光商工部）

1. 調査の概要

- (1)調査期間 平成26年12月16日（火）から平成27年1月16日（金）まで
- (2)調査項目 別紙調査票による
- (3)調査対象 常設観光協会加盟の宿泊施設並びに白馬商工会会員
- (4)調査方法
- ・常設観光協会へはメールにより協力の依頼。
 - ・白馬商工会全会員への郵送。
 - ・白馬村役場または白馬商工会へFAXにより回答書を送付
- (5)回答総数 118事業所
(うち宿泊・飲食業：80、卸・小売業：10、建設・建築業：11、サービス業：8、製造業：2、その他：7)

2. 調査結果（概要）

問1. 地震の影響について

- ・非常に大きい影響あり：3（2.5%）
- ・大きな影響あり：19（16.1%）
- ・多少影響あり：46（39.0%）
- ・あまりない：42（35.6%）
- ・無回答：8（6.8%）

問1. 自由記載欄記入意見

- ・建物3階と4階の壁と床にひび割れ多数。厨房機械不具合など
- ・建物にひびが多く出ている。改修が必要
- ・2F 従業員部屋の本棚、タンス等全て倒れて破損。ボイラー室暖房、シャワーの給水タンク破損。業者に依頼交換修理工事。食堂の食器1/3破損。
- ・年末年始もまだ空室があることと、今年は予約が非常に少ないこと。
- ・発生直後は建物が倒壊するかと思った。現在は余震も少なくなり、やや安心している。
- ・床等にひびが入った。屋根の一部がめくれた。換気孔の部品が飛んで行ってしまった。
- ・ワインやグラスが落ち、割れた。ボイラー配管水漏れ（復旧済み）
- ・店内のワイン約50本が落ちて割れた
- ・冬はなし。春からの修学旅行が心配
- ・壁に少しひび割れ有り

- ・一部壁にひびが入った。テレビ、非常灯が少し破損した。
- ・壁等の修理（冬季で凍ってしまうため）修理無理で来春に決めた。
- ・事務所が傾き、壁に無数の亀裂あり。仮設事務所へ移動
- ・降雪時期が昨年度より遅いため影響と、ツアー旅客（国内子供向けツアー）キャンセルあり
- ・食器がたくさん壊れてかたづけが大変。キャンセルを多くでました。
- ・直ぐには特に感じなかったがちょこちょこ調子の悪い場所が目に入ってきている。
- ・新館、旧館の境目からの水漏れ、エレベーター機械の水漏れによる部品交換
- ・各施設外壁にヒビ
- ・地震による直接的な被害はない。
- ・店内のワイン約50本が落ち割れました。
- ・大きく揺れましたが棚から本が落ちた程度。皿も一枚も割れませんでした。
- ・安否確認の電話やメール、手紙が多くびっくりした。
- ・壁紙ヒビ、食器われ、ピザ窯ひび割れなど
- ・レストランの食器の破損、ダクトの落下等
- ・機械設備に大きくなるいが生じ、製造上新たな設備を揃えると設備多く生産不能箇所が多く商工会では製造業の地震被害対策はないのか。
- ・文化会館・アリーナ体育館にひび割れの発生
- ・子供の団体集客に影響あり
- ・数字では表しにくい影響は感じている。
- ・日本人のキャンセルと予約の減少、資金繰り
- ・予約のキャンセルが続いた。
- ・仮普及のための材料が不足となった。
- ・冬の準備に向けて休館中であったのでお客様への被害や従業員への被害はなし。建物のゆれによる壁のヒビわれ、地下油タンクの損傷など営業に大きなダメージを受けている。
- ・特に設備等も損害なく、お客様も落ち着いていた。
- ・まだ、シーズンに入っていないため断定できない。年末年始が終わらないと不明。消費税値上げの方が大きいのではないか。
- ・建物損傷、キャンセル多数、予約減少
- ・室内・工房内部材散乱
- ・家財倒れガラス割れて停電4時間30分
- ・日本酒ワインが60本位破損。土蔵・建物・室内ひび割れ
- ・予約客のキャンセル、壁のクロスのヒビ割れ等
- ・今シーズンは営業できず

問2. 地震による入り込み客数・来店者数・取引量について（12月時点）

- ・大幅に減少している（前年同月比-30%以上）：13（11.0%）
- ・減少している（前年同月比-30%未満）：36（30.5%）
- ・あまり変わらない（前年同月比-5%未満）：62（52.5%）
- ・無回答：7（5.9%）

問3. 2014/2015 シーズン（12月～3月）の予約キャンセルの有無について

- ・予約キャンセル『ある』：54（45.8%）
- ・予約キャンセル『ない』：24（20.3%）
- ・予約キャンセル『該当しない』：40（33.9%）

問4. 問3で『ある』と答えた方にキャンセルの客層についてお聞きします

- ・【国内個人客】の予約キャンセル
 - ・80%以上：8（14.8%）
 - ・50%以上80%未満：2（3.7%）
 - ・30%以上50%未満：9（16.7%）
 - ・30%未満：31（57.4%）
 - ・無回答：4（7.4%）
- ・【外国人個人客】の予約キャンセル
 - ・80%以上：0（0.0%）
 - ・50%以上80%未満：0（0.0%）
 - ・30%以上50%未満：2（3.7%）
 - ・30%未満：15（27.8%）
 - ・無回答：37（68.5%）
- ・【一般の団体客】の予約キャンセル
 - ・80%以上：1（1.9%）
 - ・50%以上80%未満：2（3.7%）
 - ・30%以上50%未満：5（9.3%）
 - ・30%未満：11（20.4%）
 - ・無回答：35（64.8%）
- ・【学生・修学旅行等の団体客】の予約キャンセル
 - ・80%以上：4（7.4%）
 - ・50%以上80%未満：0（0.0%）
 - ・30%以上50%未満：2（3.7%）
 - ・30%未満：16（29.6%）
 - ・無回答：32（59.3%）

問5. 前年同期に比べ今シーズンの（12月～3月）の売上予想

- ・50%以上減少：4（3.4%）
- ・20%～50%減少：21（17.8%）
- ・10%～20%減少：29（24.6%）
- ・10%未満減少：31（26.3%）
- ・±5%で同等：2（1.7%）
- ・無回答：31（26.3%）

問6. 被災に起因した被害額

- ・合計 153,366,000 円（回答数 49、平均 3,129,918 円、最高金額 60,000,000 円）

問6. 金額根拠欄

- ・120泊×6500円
- ・食器破損（5万円程度）、窓ガラスひび割れ（損害額不明）、壁・クロスの小さいクラック（損害額不明）、テレビ破損（2万円程度）
- ・予約が入り始める前の災害だったため、キャンセル等で計算できていない
- ・キャンセル予約、ボイラー給水器交換作業、食器破損費用
- ・キャンセル代、営業（食器、客室テレビ等）、客室の壁などに係る修理費用
- ・パソコン破損
- ・キャンセル数と前年差のみで80万円くらい。資産被害は不明。（かべのひびが主。）
- ・グラス類が割れた程度でした
- ・男性風呂110万円、女性風呂70万円、1Fトイレ洗面所排水漏れ30万円
- ・例年より問い合わせ件数が少なく予約は今年の半分
- ・全部修理はしていないので金額は不明
- ・キャンセルは二組ほど日本人の家族連れがあったが、すぐ埋まった
- ・事業用資産の被害額調査中
- ・キャンセル8団体×30万円
- ・不動産被害5000千円、動産被害1000千円
- ・事務所建替え等をしなければならないが、まだ予定が立っていない。
- ・旅行部門においては、国内子供ツアー旅客のキャンセル
- ・150万損害保険会社確定被害額、30万見込み額
- ・44件82室180名
- ・液晶テレビ1台落下破損、棚等の食器、器具、ガラス器落下破損等
- ・壁に小さな穴、ひび割れ発生、修繕検討中
- ・60泊×9000円
- ・壁のひび割れ修理
- ・災害復旧のボランティア費用

問7. 問6で事業用資産の被害額が200万円以上ある場合、その影響による今シーズンの売上予想

- ・(被害額200万円以上:16)
- ・対前年同月30%以上減少:3
- ・対前年同月30%未満減少:5
- ・無回答:8

問8. 今後の資金繰りについて困っていること等

- ・何とかやりくりしてがんばる
- ・現在のところまだわからない
- ・ボイラ給水器交換作業代金の支払い。食材仕入れ代の支払い等についてどこからも借り入れの宛がないこと。
- ・春になってどうなるか。また、貸入がどうなるかわからない
- ・年明け後、特に夏から冬に入る頃が心配
- ・修繕費用の調達
- ・運転資金・修理資金
- ・運転資金

その他. 自由記載欄記入意見

- ・修繕に多額の費用がかかりそう。課税の面で救済してほしい。
- ・観光局も全力上げてシーズンがんばってほしい。期待している。(個人の努力には限界がある)
- ・常連のお客様には来ていただけますが、新規のお客様は予約を控える方が多いようです。
- ・今シーズン(冬)スタート時期の大地震だったので、今シーズンは減少しても仕方がないと思っている。家族連れのキャンセルが目立つ。10-15名くらいの団体が人数が極端に減ってしまうケースがある。来年春からの体験修学旅行もキャンセルが出始めている。予想の付かない自然災害なので、怖い場所に子どもの旅行は保護者の反対が出ているのだろうと思う。逆に、大地震の後は安心だという証明ができればいいのだが。
- ・外壁の損傷が多く、現時点では試算ができなく、春にならないと見当が付かない。
- ・9,10月の宿泊予約は、11月に全てキャンセルとなりました。その後予約がなく、本当に年末年始から空き缶状態です。1-3月終了時までの見通しも付きません。
- ・最近の予約自体が遅くなっているのでも、直前にならないと正直解らない部分が多いです。ただ、こんなに問い合わせの少ない年は、最近ないです。風評被害は確実にあると思います。
- ・常連のお客さんのキャンセルは全くなし。新規2件のみキャンセル。修学旅行も常連校は大丈夫です。
- ・地震前に宿泊予約した方のキャンセルが数組あったが、地震後の予約は今日現在ほとんどない。2月以降の営業が心配です。建物内の壁に数多くひび割れが見つかった。地震保険で修理ができるか、これから相談する予定です。
- ・女性・男性風呂はタイルのはがれ、角歪み、亀裂など。とりあえず、応急処置を施す。10万円掛かった。1Fトイレ排水漏れは、一応使用禁止とし、ウェットティッシュを使用。2F洗面所の洗面器ひび割れ、水漏れ。とりあえず応急処置済み。

- ・建物にひびなどが入っている
- ・2, 3月の予約はこれからなので、全体についていまははっきり言うことはできない。問4についてはマイナスである。
- ・地震発生後の2, 3日で、各サイトのビューが大幅に伸び、4日後から一気に減って、元のビュー数に伸びたため、発生後2-3日での正確な情報の発信が重要であったと思う。海外への発信は非常に早く良かった。国内向けは、明暗が分かれたように思う。
- ・災害による各グループ内のキャンセルも発生している。多雪のため除雪費用も多くかかる。先々が心配。
- ・風評評価が予想されます。
- ・1件キャンセルが出た時点で予約が入っているお客様全部にお電話してスキー場、ペンションは大丈夫ですとお知らせいたしました。お客様は「よかった」と言われキャンセルはできませんでした。しかし、地震後に入った予約は多くキャンセルになりその後は予約が入った時点でスキー場も宿泊施設も問題ないと言申し上げるようにしています。
- ・堀之内、大出地区の事を考えたら、多少の事なんて頑張っていかなければ申し訳ないと思います。
- ・冬前までに店舗の改装工事を予定していましたが、地震の影響で大工さんがこれなくなり、工事が中断中。営業には問題なく今まで通り営業できています。
- ・白馬の地震情報に疑問。地区などを示し、この地区・・・という部分があると全域でないことがわかると思う。大阪の友人は白馬村全体が崩れたと思った。ほとんど被害がないなんて信じられないと言っていた。スキー場も道も宿泊施設も大丈夫ですとPRしてほしい。一番の支援だと思う。
- ・強い地震だったが被害が少なく、けが人が出なくて良かった。被害の多く出た地区の皆さんにはお見舞い申し上げます。
- ・農業ですので雪解けが済む4月初めに田植えができない田が3~5ha(金額で3000万~5000万)になる。水路の改修もありますが、行政頼みになると思います。
- ・11月23日以降の忘年会12月のキャンセルが非常に多く1千万円相当となりました。冬シーズンのキャンセルは、今後地震がおさまれば回復できると思います。お客様の中には、被災者がいるのにその場所へ行って遊んでいいのか。被災者にホテルの部屋を提供すべきだとかご批判も頂きました。風評被害だけではなく震災以降「被災地」に対する様々なお考えがあり難しさを感じます。私どものホテルは無事です。大丈夫です。来て下さいと伝えるだけではダメで、白馬村として被害に対して支援しているところ、力強いメッセージ、安心感というものが必要だと感じました。
- ・建設業の場合は応急工事等仕事量が増え冬季の季節雇用で退職予定者を通年雇用として、今後に備える事とした。被災者の者が冬季雇用を希望している。村等の応急工事では、工事金の入金時期がかなり先になると予想される為、資金繰りを考えないといけない。商店街事業者の被害でも補助などの制度がないので困る。村や商工会で対策や制度を見直してほしい。
- ・地域は観光事業、特にスキー観光の中心にあるが冬目前の災害発生ということから影響は大きい。日々のテレビ、新聞の報道で国内の各地から白馬全滅のイメージでのお見舞いが来ているほどである。海外についてはルート通じ、震災直後にメールによってスキー場側に被害のないことを告知したことからこちらの方の風評被害は少なく済んでいる。被災した方々には心からお見舞い申し上げますところですが地域としては生きてゆかねばならず心苦しい所ではあるが頑張らなければならない

- ・スキーシーズンが始まったばかりで、まだよくわかりません。但し少なくとも子供たちの団体、スキー合宿、ジュニアを対象とした。プランについては、数件のキャンセルが発生いたしました。
- ・風評被害がかなりあると考えられます。県や村など払拭のキャンペーンなど行われておりますが、今後ともその努力を続ける。
- ・地震以降国内客のキャンセルはもちろん問い合わせが停止しています。今冬の日本人客の入り込み減少が予想されますので商工会等で緊急の融資等があれば非常にありがたいと思います。
- ・これだけ世の中が不景気の中何もなくても売り上げを伸ばすのは苦しい。更に風評被害もあり企業は景気上向きというが大企業だけ！零細企業には何の効果もない。白馬村もスポーツ観光（登山含め）をもっと推進していくべき。都会が夏季異常気象で涼しい場所でのトレーニングを希望しているにも関わらず設備がなさ過ぎて受け入れ出来ない目先の流行にとらわれ過ぎではないか。税金に対しての国、時の緩和政策はないものか。国策に対して我々は苦しめられている。これでは、後継者も育たず、衰退へ至っていく。若者の雇用先もなく、村が不安である。
- ・銀行貸し出し緩和
- ・復旧資金の長期低金利の提供。防犯グッズの安価な提供。地区ごとの避難所のマップや誘導方法の指導、避難所には何がどこに置いてあるかの表示。誰にどう連絡をとり、どう動いたら良いのか。今回の震災を教訓に行動指針を作ってほしい。
- ・三月四月の支払いが、売り上げ減少のため予測しづらい。支援要望をするとすれば3～5月期か今後の予約の伸びに期待する。
- ・今の所、外国のお客様の来店が通年通りあるように感じます。今後、国内のお客様の来店の見込みが予想がつかないので心配ではありますが各スキー場の方がPR活動を熱心に行っているため風評被害が少ないことを期待しています。
- ・予約者のキャンセルも多いが、1月後半以降の予約が全く入ってこない。週末でも空室がかなりある状態。建物等の修理依頼をまだしていないので、被災金額はまだわかりません。風評被害に負けないよう、全国、世界に向けて発信してもらいたいです。例えば、じゃらんや楽天等のサイトの長野県のエリアページトップに地震の影響がないというコメントを少し表示してもらおうとか、各旅行サイトに交渉してもらいたいです。そうしないと「白馬エリア」クリックしてもらえないのでは？と思います。各事業所ごとにそれぞれのコメントの表示はしていますが、やはり大手サイトに表示してもらい、白馬のページに入ってもらうのが一番効果があると思います。
- ・特に地震による影響はないが、観光客数の減少で、来店客は減っている傾向にある。当方はほとんど県外催事に出展しているため、地震より不況の方が深刻である。
- ・外壁ひび割れ、ボイラー故障、戸棚倒れ、扇損傷、トイレタイル落下、食器破損、PC破損。
- ・古民家を改修して建てた為、何とか修理して息子の代に繋げたいと思っております。
- ・対外的にはマイナスの情報(被害損害面)の発信よりもプラスのイメージの発信により、観光客が安心して観光に来れるような対応強化をお願い致します。